新刊のご案内

溪水社 FAX(082)246-7876

日本学術振興会平成 22 年度助成出版

2010年 9月29日刊行
最新刊

ギャスケルで読む

ヴィクトリア朝前半の社会と文化

生誕二百年記念

松岡光治編

A5 判・上製 722 頁／定価 7,875 円（税込）ISBN978-4-86327-109-8

これは多くの点で注目すべき、極めて野心的な本である。（中略）本書は序章と多くの信頼できる研究者による 30 章の論文を取りまとめ、1 冊だけでヴィクトリア朝の社会 と文化の全容を対象に論じたものとなっている。（中略）本書に対する私の最初の反応は 称賛と感謝であった。これは素晴らしい本であり、広範囲に及ぶ研究者、学生、一般読者にとって計り知れない価値を持つ本となるであろう。（ J・ヒリス・ミラー「巻頭言」より）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

西暦 2010 年はヴィクトリア朝の小説家、エリザベス・ギャスケルの生誕 200 年にあたる。その記念事業として企画された本書の目的は、ギャスケルの思想と感情が表白された作品に多角的なアプローチで迫り、テクスト内部に再現されたヴィクトリア朝の時代精神と社会思潮を複合的に分析しつつ、従来の社会史や文化史で提示された言説の傍証を固めるとともに、今までヴィクトリア朝研究において看過されてきた点を独自の立場から照射することにある。本書では、ギャスケル文学にとって重要な ヴィクトリア朝の社会的・文化的コンテクストから選ばれた 30 のテーマが、「社会」、「時代」、「生活」、「ジェンダー」、「ジャンル」、「作家」という6つの枠組に分類され、学界の泰斗と今まさに最前線で活躍している中堅・若手の研究者が、過去の著書や論文に従って適材適所に配置されている。産業革命後の時代の変化 を描いた作家ギャスケルの作品を通して、ヴィクトリア朝前半の社会と文化を読み解く作業は、21 世紀の現代が抱える多種多様な問題を考察するのに大いに役立つはずである。（編者「まえがきに代えて」より）

英語を併記し、生没年・出版年を完備したギャスケルとヴィクトリア朝関連の1800項目に及ぶ詳しい「索引」付き！

巻頭言（J・ヒリス・ミラー）
まえがきに代えて
序章　歴史——ヴィクトリア朝前半の時代とギャスケル（村岡健次）
十九世紀ヴィクトリア朝の概観／初期ヴィクトリア朝の社会／中期ヴィクトリア朝の社会／ギャスケルと慈善

第1部【社会】

第１章　教育——その変革の波のなかで（A・シェルストン／猪熊恵子訳）
ギャスケル一家と教育／産業小説のなかの教育／変わりゆく地方社会と知のあり方／新しい時代に向かう大学
第2章　貧富——マンチェスターの〈二つの国民〉（松村昌家）
マンチェスターの変容／貧富のコントラスト／製造業者批評家の反駁／貧困と「大社会悪」
第3章　階級——理想と現実（新井潤美）
複雑な階級制度／さまざまなワーキング・クラス／使用人という階級／上昇志向のもたらす脅威
第4章　国家——自由貿易主義の帝国のなかで（玉井史絵）
ギャスケルと帝国／自由貿易主義のはてに／移動する人々／国家アイデンティティの構築
第5章　自然——牧歌から農耕詩へ（大田美和）
ロマン主義と小説における自然描写／旅とマンチェスターと自然描写／牧歌とヴィクトリア朝前半の社会／女性と労働者の農耕詩

第2部【時代】

第6章　科学——その光と陰（荻野昌利）
科学信仰と科学教育／科学技術の勝利／もうひとつの世界／「進歩」か「進化」か
第7章　宗教——なぜ宗教小説にならないのか（富山太佳夫）
異種混在／結ばない焦点／宗教小説になりそこねて／宗教は何処に
第8章　郵便——鉄道と郵政改革が見せた世界（宮丸裕二）
鉄道普及と郵便改革の時代／鉄道にみる区分けされゆく世界／手紙にみる結びつけられゆく世界／変わりゆく小説の関心と人間の関心
第9章　子供時代——天国と地獄の子供たち（石塚裕子）
子供観の変遷／ギャスケルと児童文学／児童労働／捨てられた子と、子を亡くした母と
第10章　レッセ・フェール——楽観主義には楽観主義を（松岡光治）
自助の精神と相互扶助／労働組合における個人と集団／不作為の罪としての無関心／現状の道徳的改善

第3部【生活】

第11章　衣——ワーキング・クラス女性の個性（坂井妙子）
衣服の観相学／モラリティーの符牒としての女性服／モラルとドレスコード／ショールが示すキャラクター
第12章　食——書簡が語る食と生（宇田和子）
生活習慣病と食生活／飢えと渇望と／足りてなお／不足と過剰の結果
第13章　住——住環境にみる産業革命の痕跡（三宅敦子）
光を遮断されて／光を集めて／コンフォートという概念／「家具の備え付け」の文化的意味合い
第14章　娯楽——明日も働くために（中田元子）
都市労働者と娯楽／学問・園芸／散歩・ピクニック／鉄道旅行
第15章　病気——工業都市の危険因子（武井暁子）
貧困、不衛生、病の連鎖／マンチェスター労働者階級の貧困と病／大気汚染と病／貧困と依存症

第4部【ジェンダー】

第16章　女同士の絆——連帯するスピンスターたち（田中孝信）
女同士の間に友情は存在するのか？／十九世紀半ばのスピンスター観／女だけの町／寄り添う女たち
第17章　女性虐待——監禁、凍死、餓死、抑圧的な女子教育（鈴木美津子）
女性の女性による女性のための歴史小説／不従順、監禁、狂気、凍死／自己犠牲、忍従、餓死／精神的虐待としての女子教育
第18章　売春——混迷のボディ・ポリティクス（市川千恵子）
ドメスティック・イデオロギーの闇／都市の迷宮／「英国の母たち」の政治的欲望／浮遊するセクシュアリティ
第19章　ミッション——女性の使命と作家の使命（田村真奈美）
女性の使命／作家とミッション／宗教作家の影響／芸術と聖なる仕事
第20章　父親的温情主義——レディー・パターナリストの変容（波多野葉子）
父親的温情主義の復権／女性の領域／マーガレット・ヘイルとその変容／ギャスケルの模索

第5部【ジャンル】

第21章　ゴシック小説——ヴィクトリア朝のシェヘラザード（木村晶子）
ゴシック小説とは／ヴィクトリアン・ゴシック／女性のゴシック／家庭という牢獄と幽霊物語
第22章　恋愛小説——牧師の娘たちの信仰告白（大野龍浩）
信仰／永続／疑念／ヴィクトリア朝小説の恋愛
第23章　歴史小説——歴史の時代への反応（矢次　綾）
歴史の時代としての十九世紀／ギャスケルの歴史への関心／名もない個人が受容した歴史／歴史を伝えるストーリー・テラー
第24章　推理小説——群衆の悪魔（梶山秀雄）
センセーション・ノヴェルにおける眠り／〈群衆の人〉ジョン・バートン／収集家と秘密の部屋／〈新しい女〉の系譜
第25章　演劇的要素——メアリ・スミスは何を観たのか（金山亮太）
メロドラマの文法／リスペクタブルとは何か／メタ・シアターとしての『クランフォード』／メアリ・スミスは何を観たのか

第6部【作家】

第26章　自己——「自伝」とその虚構化をめぐって（新野　緑）
リアリズムと自伝／虚構化の試み／「見る人」ファニー／ギャスケルにおける分裂する「自己」
第27章　言語——ギャスケルの方言使用とディケンズへの影響（パトリシア・インガム／松岡光治訳）
ギャスケル以前の産業小説／ギャスケルの方言使用における新リアリズム／『ハード・タイムズ』の方言へのギャスケルの影響／『ハード・タイムズ』でのリアリズムの試み
第28章　出版——女性の職業作家としての人生（ジョウアン・シャトック／小宮彩加訳）
ジャーナリズムの寵児、M・オリファント／エヴァンズから作家エリオットへ／初期のギャスケルと大衆的ジャーナリズム／後期のギャスケルと中産階級向け文芸誌
第29章　ユーモア——二つの系譜の継承と円熟（大島一彦）
ギャスケル文学におけるユーモアの位置／表に現れるユーモアと背後に潜むユーモア／善意のユーモアと共鳴の笑いと涙／円熟せるオースティン流のユーモア
第30章　同時代作家——ギャスケルとの交流を通して（長瀬久子）
強き父なる編集長ディケンズ／C・ブロンテと挑戦するヒロイン／描かれたC・ブロンテ／G・エリオットの正体をめぐって

あとがき
年表／文献一覧／図版一覧／執筆者一覧／索引

書籍の詳しい情報はホームページで
www.keisui.co.jp

ご注文は裏面の FAX 注文用紙をご利用下さい

ギッシングを通して見る

好評発売中

後期ヴィクトリア朝の社会と文化

生誕百五十年記念

松岡光治編

A5判・上製540頁／8,400円（税込）／ISBN978-4-87440-983-1

「社会」、「時代」、「ジェンダー」、「作家」、「思想」という五つのテーマのもと、25 人の執筆者が、ヴィクトリア朝後期の時代精神と社会思潮を検証。科学がもたらす戦争と混沌を予告し警告を発したギッシングの全貌とその時代を明らかにした。

まえがき
序　章　ギッシング小伝【ピエール・クスティヤス／松岡光治訳】

《第1部》社会
第1章　教育——そのタテ前と本音【小池　滋】
第2章　宗教——なぜ書かなかったのか【富山太佳夫】
第3章　階級——新しい「ミドル・クラス」【新井潤美】
第4章　貧困——貧民とその救済【石塚裕子】
第5章　都市——自分のいない場所がパラダイス【松岡光治】

《第2部　時代》
第6章　科学——進化に背いて【村山敏勝】
第7章　犯罪——越境する犯罪と暴力【玉井史絵】
第8章　出版——ギッシングと定期刊行物【グレアム・ロー／野々村咲子訳】
第9章　影響——白鳥は悲しからずや【金山亮太】
第 10 章　イングリッシュネス——「南」へのノスタルジアの諸相【石田美穂子】

《第3部　ジェンダー》
第 11 章　フェミニズム——ギッシングと「新しい女」の連鎖【太田良子】
第 12 章　セクシュアリティ——「性のアナーキー」の時代に【中田元子】
第 13 章　身体——「退化」としての世紀末身体【武田美保子】
第 14 章　結婚——結婚という矛盾に満ちた関係【木村晶子】
第 15 章　女性嫌悪——男たちの戸惑いと抗い【田中孝信】

《第4部　作家》
第 16 章　自己——「書く」自己／「読む」自己【新野　緑】
第 17 章　流謫——失われたホームを求めて【小宮彩加】
第 18 章　紀行——エグザイルの帰郷【バウア・ポストマス／光沢隆訳】
第 19 章　小説技法——語りの方法と人物造型【廣野由美子】
第 20 章　自伝的要素——分裂する書く自分と書かれる自分【宮丸裕二】

《第5部　思想》
第 21 章　リアリズム——自然主義であることの不自然さ【梶山秀雄】
第 22 章　ヒューマニズム——時代からの亡命【ジェイコブ・コールグ／矢次綾訳】
第 23 章　審美主義——美を通じた理想の追求【吉田朱美】
第 24 章　古典主義——ある古典主義者の肖像【並木幸充】
第 25 章　平和主義——その気質の歴史的考察【ピエール・クスティヤス／田村真奈美訳】

あとがき
年表／文献一覧／図版一覧／執筆者一覧／索引

FAX注文用紙（082-246-7876）溪水社行　（広島市中区小町 1-4 ／電話 082-246-7909）

※直接ご注文の場合、送料無料。ご注文から3日以内に発送いたします。
電話（082-246-7909），Eメール（info@keisui.co.jp）でもご注文いただけます。

書　名	定価	部数
ギャスケルで読むヴィクトリア朝前半の社会と文化	7,875 円	
ギッシングを通して見る後期ヴィクトリア朝の社会と文化	8,400 円	

フリガナ		
お名前		
お届け先	〒□□□-□□□□ お電話番号（　　）　　－	
お支払い	□ 郵便振込　□ 銀行振込	私費 ・ 公費　※○で囲んでください
	必要書類	納品書（　　）通、請求書（　　）通、見積書（　　）通
【通信欄】		

【個人情報の保護について】ご注文などで承った個人情報は商品の発送以外に使用いたしません。